

北海道新幹線長万部駅 周辺整備について





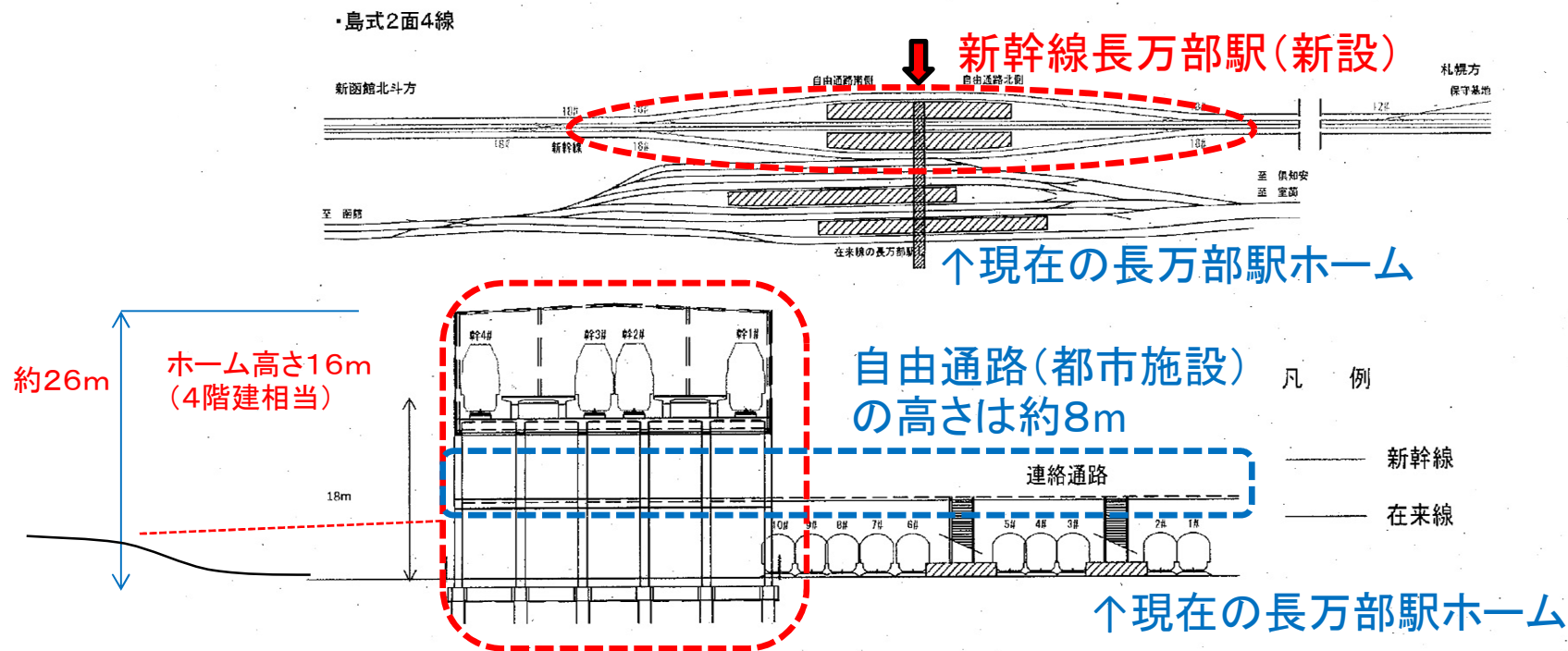
*イメージ図記載の駅構造、デザイン及び駅周辺整備等について決定したものではありません。
*イメージ図記載の現況建物、道路等の構造、寸法は現地と異なり参考です。



鉄道施設 新幹線長万部駅について

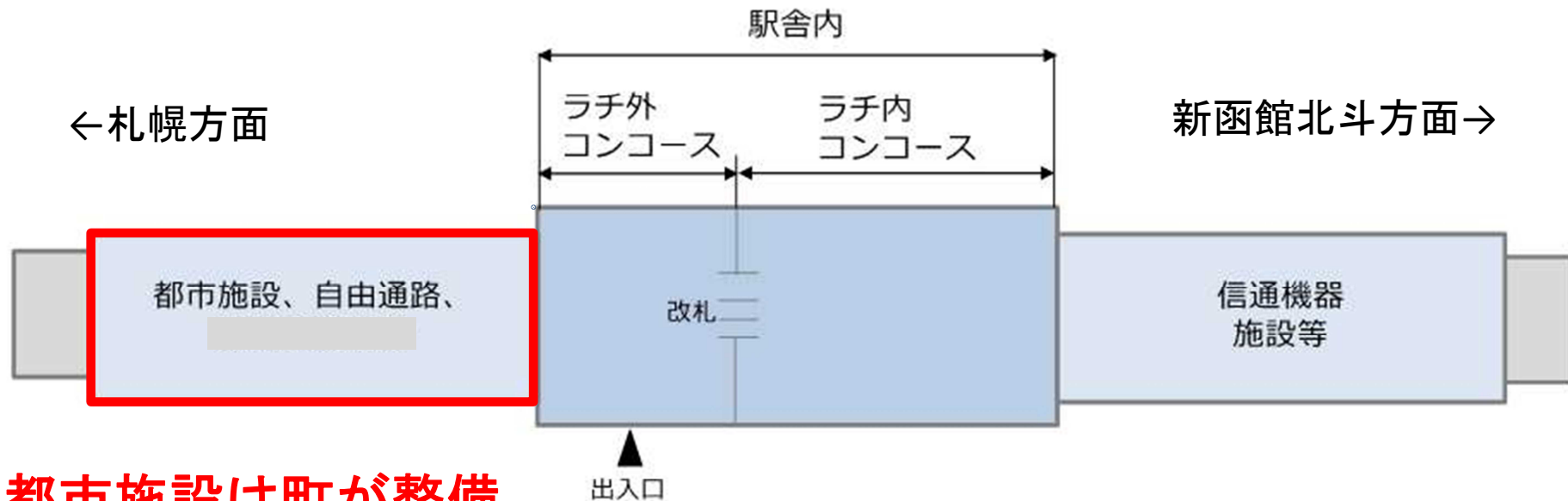
長万部駅の整備イメージ

※元図は鉄道運輸機構会議資料より



【特徴】1階に在来線、2階に新幹線駅、3階に新幹線ホーム
現駅舎の西側(山側)に新幹線駅を建設。

- ・駅舎内は、ラチ内コンコースとラチ外コンコースに分かれており、鉄道・運輸機構が整備し、その後ＪＲが管理する。



**都市施設は町が整備
します**

図. 駅舎内外のイメージ

【用語説明】

○ラチ（柵）外コンコース：駅舎の出入口から改札口の柵までを指す。

○ラチ（柵）内コンコース：改札口の柵からホームまでを指す。

※コンコースとは、駅舎出入口～ホームに至るまでに旅客・駅利用者が通る主要な通路のこと。通路としての機能のほかに、旅行準備や待合せを行う滞留スペースとしての機能をもつ。



長万部まちづくりアクションプラン整備イメージ

①自由通路・滞留空間整備
東西市街地を連絡

②東口駅前広場・「まちの駅」整備
バス・タクシー乗降場東口集約
※「駅正面」は東口とする

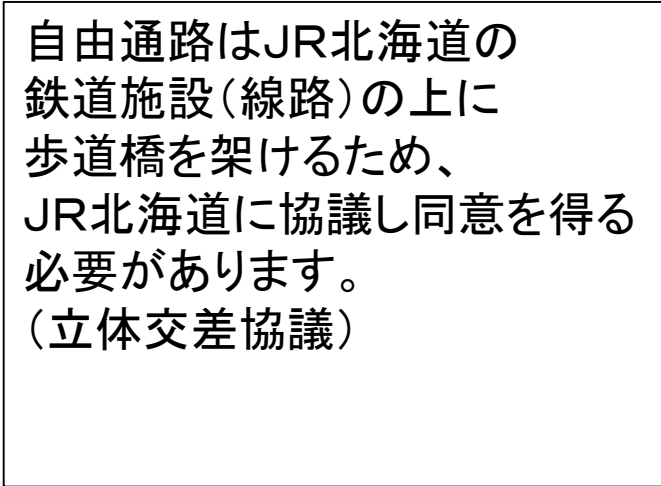
③西口駅前広場・アクセス道路新設



推進会議の検討を踏まえた東口及び西口駅前広場の整備イメージ
(2017年度)

②のまちの駅は、○駅勢圏広域連携で観光案内 ○各地域名産品物販、○イートイン機能、
を検討 (木古内駅前「道の駅 みそぎの郷 きこない」 周辺9町連携と同じイメージ)

【令和4年5月現在】長万部駅周辺整備計画検討イメージ
自由通路位置変更・現駅舎支障移転案



- 5

自由通路橋 橋梁一般図
2径間案2



自由通路・昇降棟 概算工事費

工事区分	概算工事費(千円)	備考
橋梁・上部構造	177,834	
下部構造	116,415	
建物 東昇降棟	628,839	
自由通路棟	271,835	
西口昇降棟	220,406	コンコース前床、滞留空間含まない。
電気設備	80,218	
機械設備	18,282	
合計	1,513,829	※エスカレータ等、鉄道事業者の負担を見込める部分も含む 7



参考写真 北陸新幹線 上越妙高駅、富山駅



北陸新幹線 上越妙高駅（新潟県上越市）
※長万部駅に似た大きさの3階建て駅



北陸新幹線上越妙高駅 新潟県上越市 自由通路幅10m
※長万部は幅6mを想定

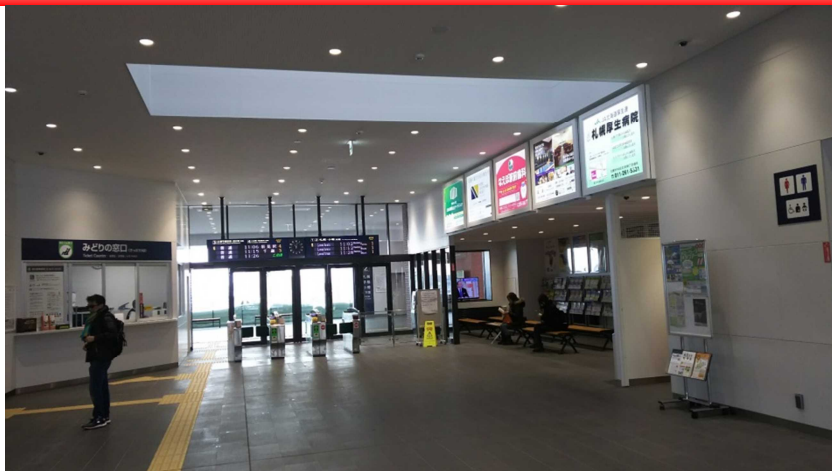


北陸新幹線富山駅 富山県富山市 改札前コンコース
※自由に弾けるピアノがある

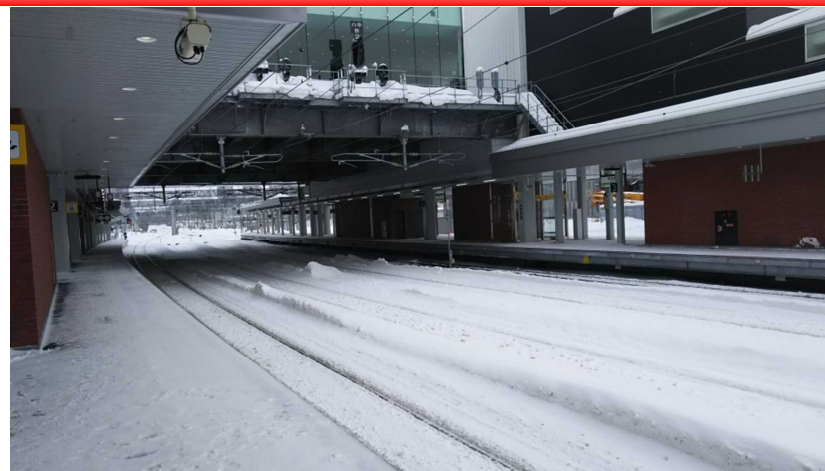


北陸新幹線富山駅 富山県富山市 改札前コンコース

参考写真 JR苗穂駅・自由通路



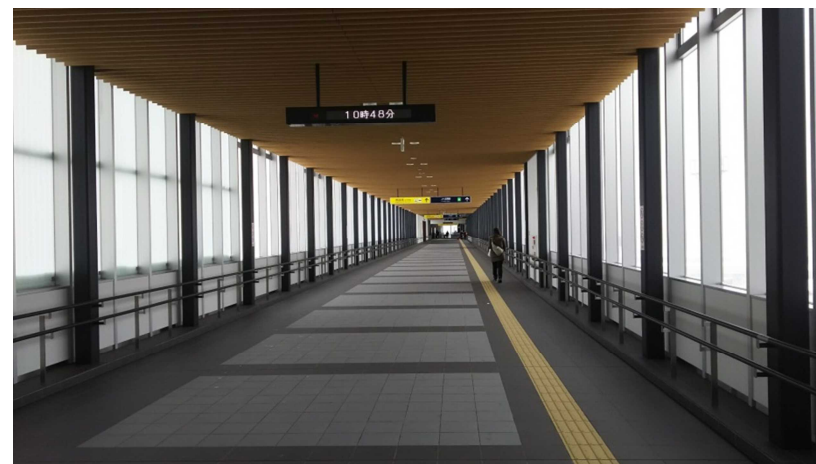
札幌市 苗穂駅(橋上駅2階)
※苗穂は在来線駅なので新幹線駅より広さは小さい



札幌市 苗穂駅(ホーム1階)
※2階に駅・自由通路



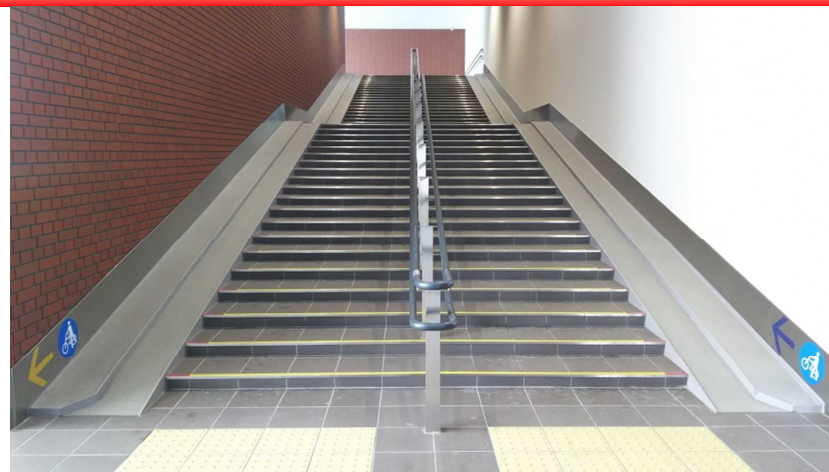
札幌市 苗穂駅 自由通路
※線路上を通過 通路高さは約8m



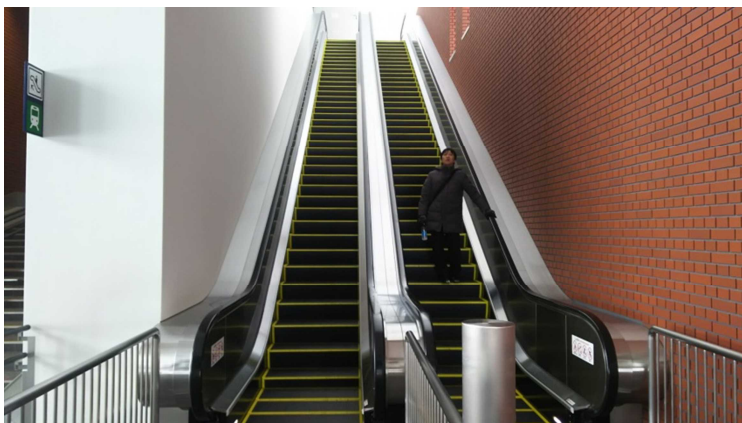
札幌市 苗穂駅 自由通路幅約6m
※長万部と同じ幅



苗穂駅 北口(エレベータ、エスカレーター、階段施設)



札幌市 苗穂駅 階段(中2階ホールで折り返し)
※階段端に自転車レーン、すれ違い可。



札幌市 苗穂駅 エスカレーター
※高さ8mなので、1階→3階のイメージ

東口階段室のイメージ。現駅舎を除却し建設見込み。



駅前再開発イメージパース

■長万部駅前東口広場再開発プロジェクト
Oshamanbe east exit of the station square Project 2021

B-type

株式会社 二本柳慶一建築研究所
KEIICHI NIPPONKAWA ARCHITECT & ASSOCIATES



この資料は各レイアウトを検討するための素案です。

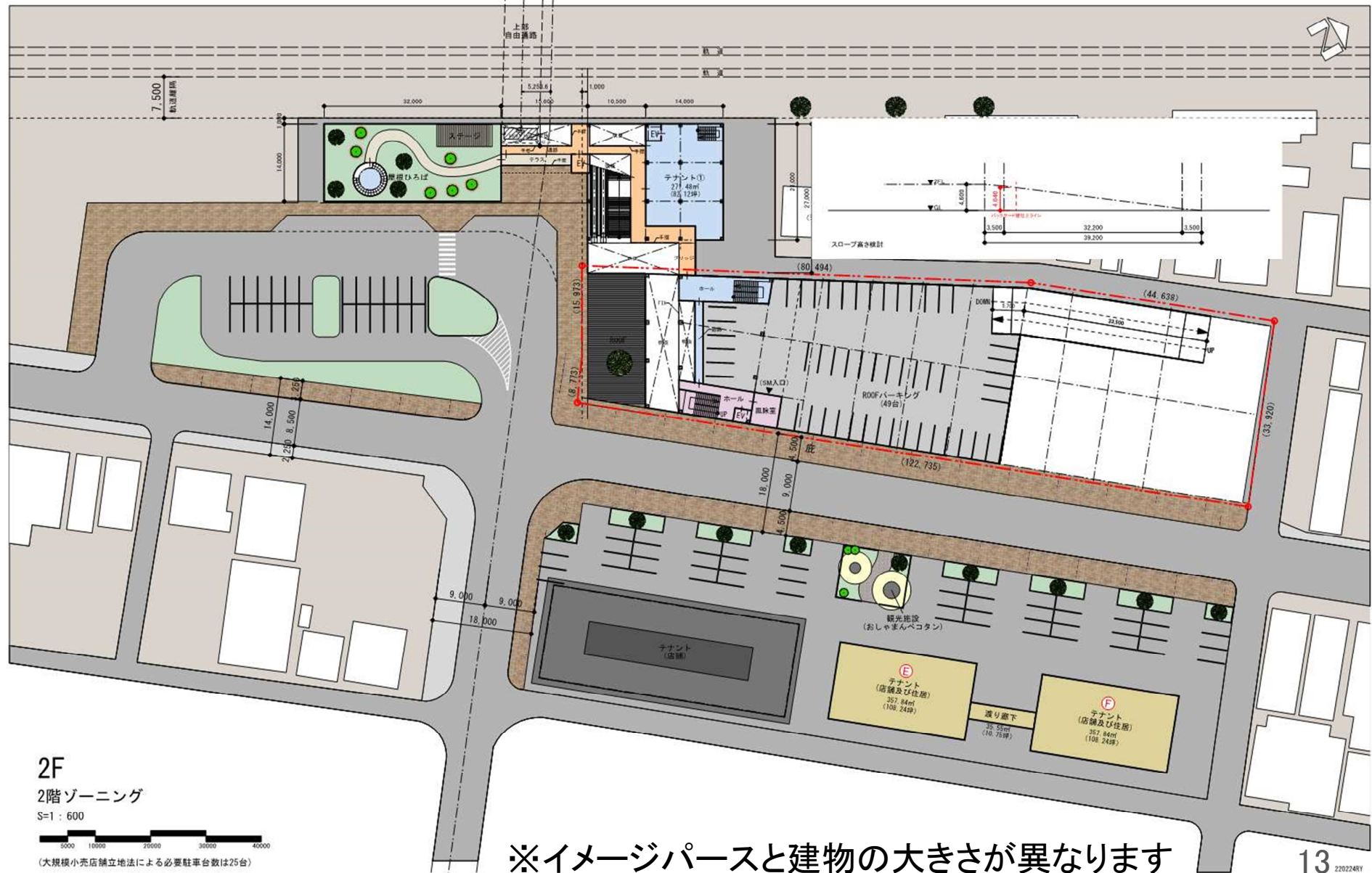
イメージパース（夏）

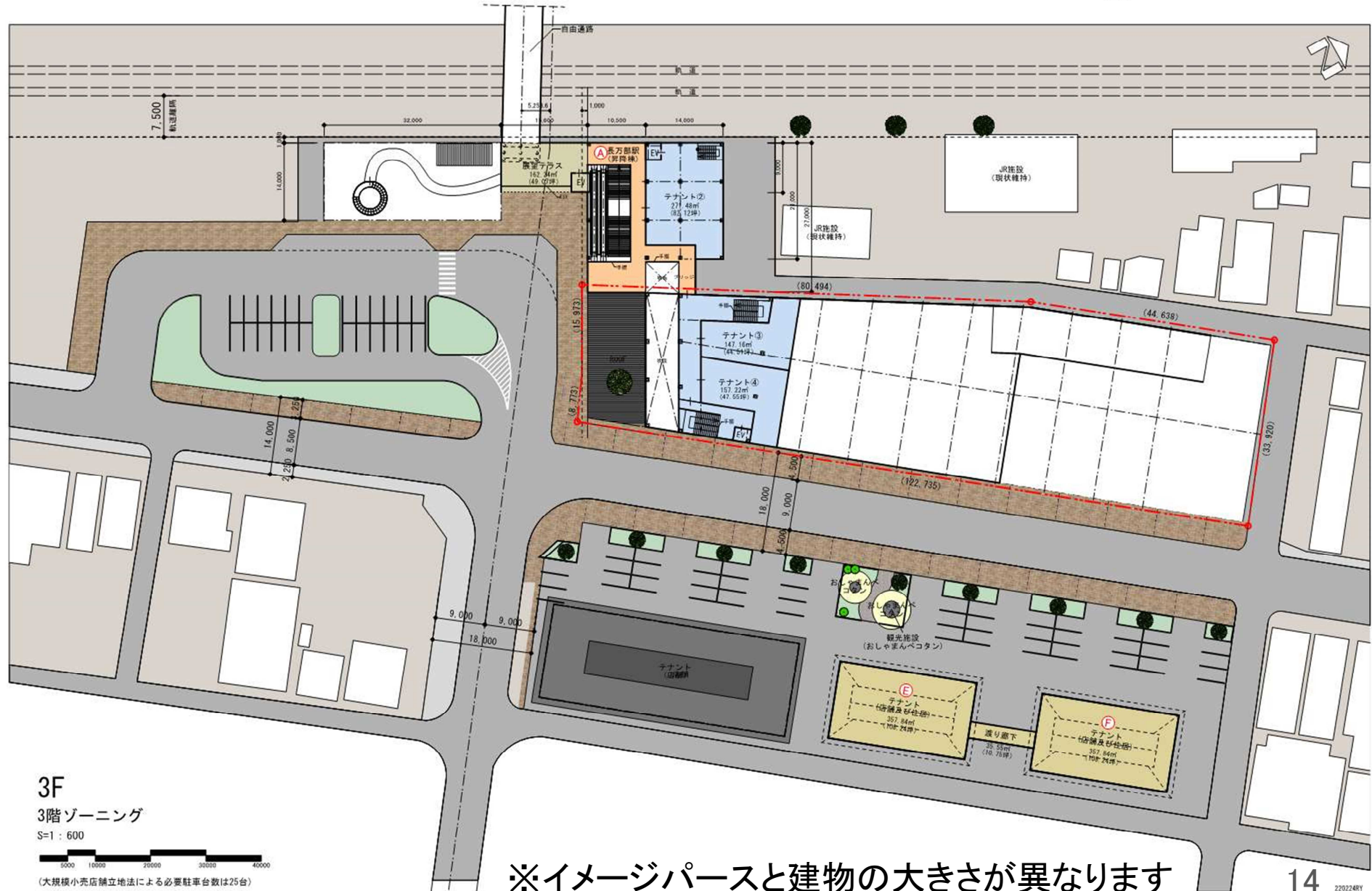


※イメージパースと建物の大きさが異なります

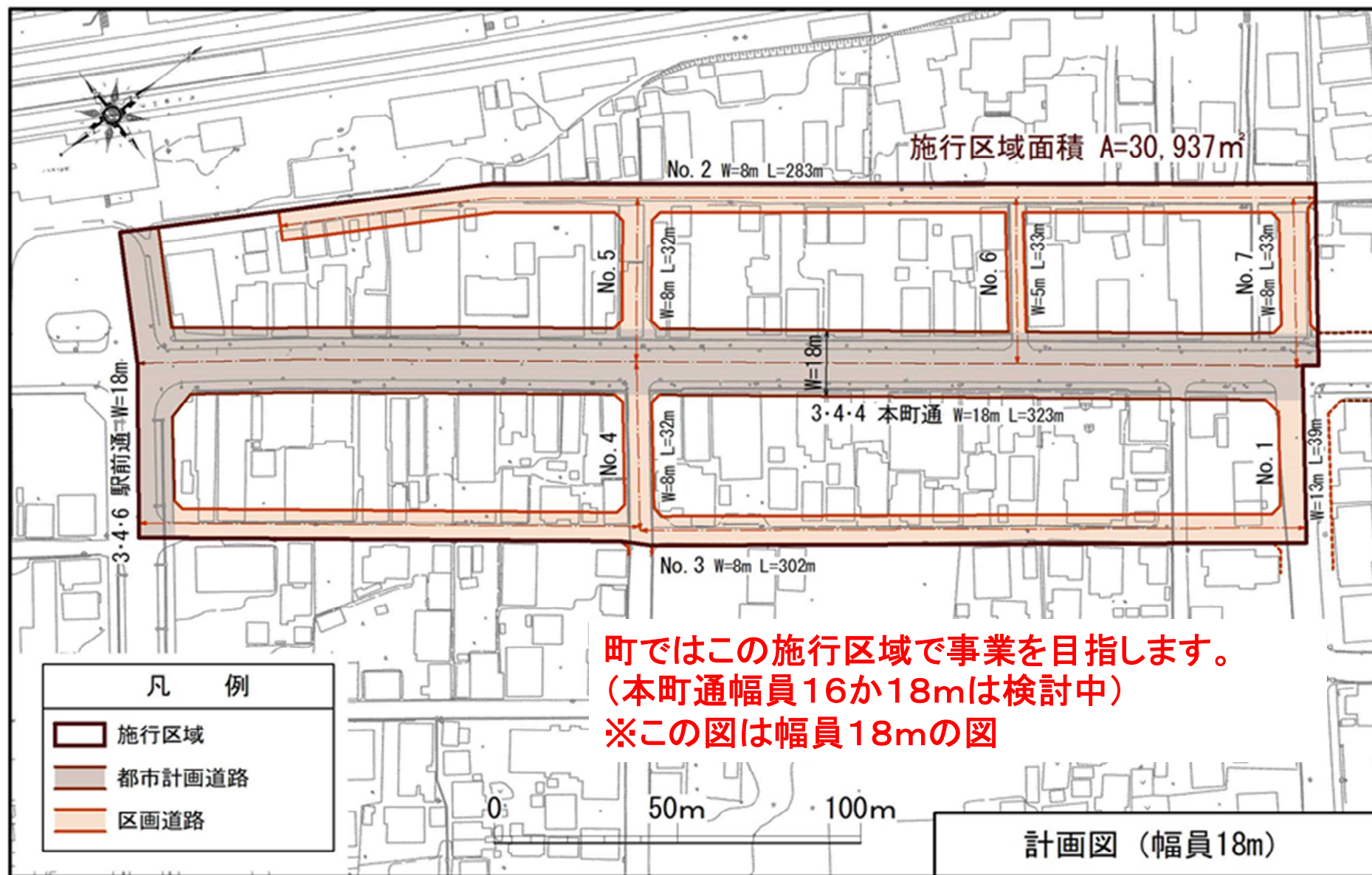


Oshamambe Town Hall



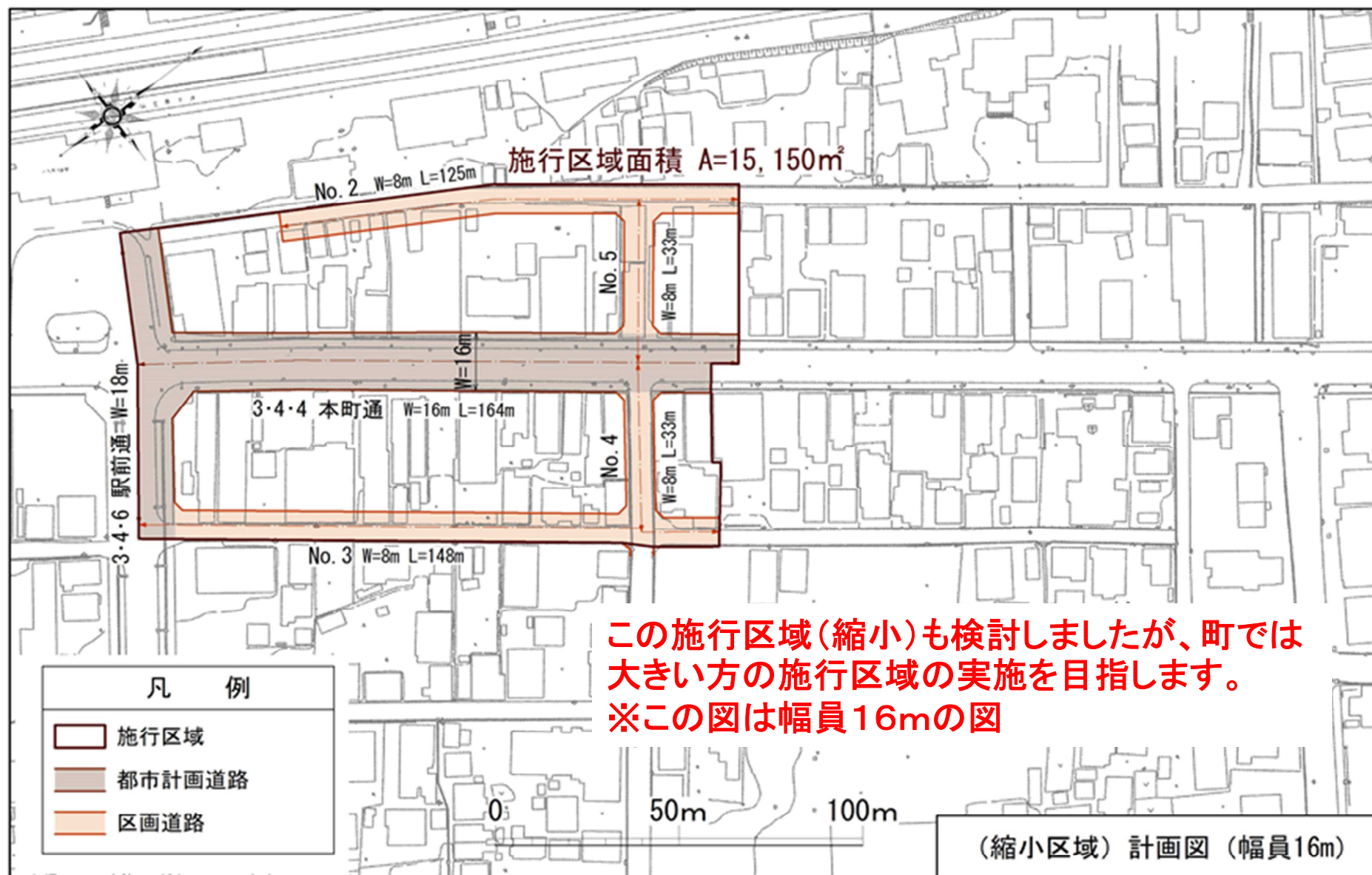


土地区画整理事業 基本計画(概要)①



町ではこの施行区域で事業を目指します。
(本町通幅員16か18mは検討中)
※この図は幅員18mの図

土地区画整理事業 基本計画(概要)②



土地区画整理事業事業費比較表

項目		細目	施行区域 (地区面積:30, 937㎡)				縮小区域 (地区面積:15, 150㎡)			
			本町通幅員				本町通幅員			
			W=18m		W=16m		W=18m		W=16m	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
支出	公共施設整備費	区画道路	682m	102百万	685m	103百万	337m	51百万	339m	51百万
		小 計		102百万		103百万		51百万		51百万
	移転移設補償費	建物移転	72棟	2,797百万	72棟	2,797百万	41棟	1,649百万	41棟	1,649百万
		移設	1式	12百万	1式	12百万	1式	6百万	1式	6百万
		減価補償金	1式	26百万	1式	21百万	1式	14百万	1式	11百万
		小 計		2,835百万		2,830百万		1,669百万		1,666百万
	その他工事・設計等	その他工事	1式	6百万	1式	6百万	1式	3百万	1式	3百万
		調査設計費	1式	80百万	1式	87百万	1式	45百万	1式	48百万
		事務費	1式	121百万	1式	121百万	1式	71百万	1式	71百万
		小 計		207百万		214百万		119百万		122百万
合 計			3,144百万		3,147百万		1,839百万		1,839百万	
負担額内訳	公共施設管理者負担金 (本町通)	国費 6/10		1,219百万		1,113百万		716百万		672百万
		道費 4/10		814百万		742百万		478百万		449百万
		小 計		2,033百万		1,855百万		1,194百万		1,121百万
	都市構造再編集中支援事業 (区画道路)	国費 1/2		327百万		378百万		153百万		153百万
		町費 1/2		328百万		378百万		154百万		154百万
		小 計		655百万		756百万		307百万		307百万
	町単独費	移転費		223百万		301百万		205百万		278百万
		減価補償金		26百万		21百万		14百万		11百万
		その他工事費		6百万		6百万		3百万		3百万
		調査設計費		80百万		87百万		45百万		48百万
		事務費		121百万		121百万		71百万		71百万
	小 計			456百万		536百万		338百万		411百万
総 計			3,144百万		3,147百万		1,839百万		1,839百万	
負担額合計	国費(公管金+都市構造再編集中支援事業)			1,546百万		1,491百万		869百万		825百万
	道費(公管金)			814百万		742百万		478百万		449百万
	町費(単独費+都市構造再編集中支援事業)			784百万		914百万		492百万		565百万
	合 計			3,144百万		3,147百万		1,839百万		1,839百万

【土地区画整理事業の補足説明】

○土地区画整理とは

道路などの公共施設を土地買収ではなく減歩負担により配置整備する市街地の造成手法です。

○減歩負担の考え方

事業区域内の土地は、減歩負担による公共施設の整備改善、宅地区画の形質向上のため、利用価値が高まり単価が上昇するため、面積が減っても土地の総価額は施行前後で一定に保たれます。

※なお、施行前後総価額の差額を調整する目的で、減歩とは別に減価補償金分について、整理前の土地を町で購入する必要があります。どの土地を購入するかは別途調整します。

○施行区域内の建物で、道路の拡幅や商店街の集約等による大規模区画の造成等で支障となるものは移転移設補償により除却します。

○町では、基本計画を施行面積30,937㎡(大きい方)で、新幹線開業時までには事業完了を目指して、準備を進めます。

まちづくりのスケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
都市計画		変更							
自由通路			詳細設計		工事				
区画整理	まちづくり基本調査	事業調査促進調査	測量実施計画	換地設計	仮換地指定	工事		換地処分	精算
まちの駅複合施設 (津波避難施設)		基本構想	基本計画	基本設計	実施設計		工事		
									新幹線開業